

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
国東市	(国東町) 重藤地区 (重藤)	令和3年 3月	

1 対象地区の現状

地区内の耕地面積	43.1 ha
アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	43.1 ha
地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	36.8 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	- ha
うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	- ha
地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	15.4 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>地域内の担い手となる若い農業者や農業後継者がいない状況であり、地域内の圃場条件も悪く、耕作放棄地の増加が見込まれる。今後、基盤整備等事業により農地の大区画化及び農地の受け皿となる担い手の確保が必要となる。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>(農)重藤(集落営農法人)の設立により、法人が今後の地域の農地利用を担うほか、新規就農者及び企業等の受入を促進することにより対応していく。</p>

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

新たな担い手の確保や新規就農者及び企業等の受入を促進 ・地域内外からの担い手や新規就農者及び企業の受入体制の整備を行う。
農地中間管理機構の活用方針 ・認定農業者等の担い手が農地を集積する場合は、農地中間管理機構を活用する。
集落営農法人の設立 ・今後の農地の受け皿として、集落営農法人の設立に取り組む。
基盤整備事業への取組方針 ・農業の生産効率の向上や農地の集積・集約化を図るため、地域の基盤整備事業等の取り組みを検討する。
新規・特産化作物の導入方針 ・米、麦等の土地利用型作物以外に収益性の高い園芸作物の生産に取り組む。